第73回北海道実業団バドミントン選手権大会

新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」

北海道実業団バドミントン連盟

１．基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに準じて、北海道実業団バドミントン連盟が作成した新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」に基づき、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

２．大会会場への入場及び有観客試合の実施について

①本大会は有観客で実施するが、競技フロア内への出入りについては、参加申込書に記載されたチームの役員、選手並びに、大会役員、報道関係者のみとする。（以下、大会関係者とする）
②発熱者（37．5度以上）の入場を禁止する。

３．大会関係者、競技観戦者の遵守事項

①以下の事項に該当する場合は、自主的に参加や観戦を見合わせること。
ア 体調が良くない場合
発熱、咳、咽頭痛など風邪の症状がある。だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある。
嗅覚や味覚の異常がある。体調が重く感じられる、疲れやすい。
イ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
ウ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
エ 政府が定める所定期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等からの入国者との濃厚接触がある場合
②今大会は「感染症対策確認書」の提出要請を行わない。
③大会会場内でのマスクの着用は個人の判断に委ねる。高齢者等、重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な場面では、マスク着用を推奨する。
④観客席については、距離を空けて座り、一定の距離を保つこと。食事をとる場合は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、距離をとり密にならないようにすること。
⑤ゴミは、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分すること。

４．開場時間・受付について

①開場時間は両日ともに8：45の予定。大会初日、チーム代表者は競技フロア内の大会受付でチーム受付を済ませること。
②大会受付で「プログラム」「参加料領収書」「競技・運営上の注意」「オーダー用紙」を配付する。

５. 大会会場内に関する確認事項

①感染防止対策として、消毒液、非接触型体温計等、必要な用品を準備する。手指消毒液は、出入口付近、競技フロア内、通路等に適宜配置し、手指消毒を励行する。
②組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。
③外履きは袋に入れて各自で管理し、大会会場の下駄箱は使用しない。
④更衣室の使用について、シャワーを利用する場合は短時間で済ませること。

６. 大会本部

①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
②大会運営に係る物品等については、定期的に消毒を行う。

７. 競技会場フロア及び競技関係用具類について

①コートサイドへはカゴの設置はせず、各自タオル・飲み物・ラケットを入れたバッグを持参する。
②インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。

８. 競技関係者及び競技の確認事項、開閉会式について

①選手同士や審判員との握手は行わない。
②シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを直接カゴから取り出し、使用済みシャトルは選手が回収カゴに入れる。
③試合のコールにより、各チームは指定されたコートに集合してあいさつ後、第１試合を開始する。全ての試合が終了後、各チームはコートに整列をしてあいさつ後退場する。
⑤朝の練習は、コート指定を行い実施する。
⑥試合開始前の練習は、主審の指示で各マッチ(試合)開始前の２分間とする。
⑦競技フロアに選手が集合する開会式は行わない。競技開始前に開始式を行い、注意事項等の説明をする。閉会式は全競技終了後に行う。